

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量(発電出力合計)が、その需要量等(エリア需要予想、連系線運用容量)を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

2019年度: 5/2(日) 30回目 以来中断していたが再開(2018年度 26回実施)
(2018年度 最初に実施(たのと同じ))

対象エリア: 九州エリア 本土
2019年度実績
[11月3日現在]

通し番号		31	32	33	34				
出力制御内容	発信日	10/12(土) 16時頃 (前日指示)	10/13(日) 実績 (速報)	10/13(日) 16時頃 (前日指示)	10/14(月) 実績 (速報)	10/26(土) 16時頃 (前日指示)	10/27(日) 実績 (速報)	10/27(日) 16時頃 (前日指示)	10/28(月) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	10/13(日) 8時00分~16時00分	10/13(日) 8時00分~16時00分	10/14(月) 8時00分~16時00分	10/14(月) 8時00分~16時00分	10/27(日) 8時00分~16時00分	10/27(日) 8時00分~16時00分	10/28(月) 8時00分~16時00分	10/28(月) 8時00分~16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 5	11時00分 5	12時00分 5	12時30分 5	12時00分 5	出力制御なし	12時00分 5	出力制御なし
	再エネ出力制御量 [再エネ接続量に対する比率] ^(注1)	41% ~ 62% [6% ~ 9%]	38% [6%]	17% ~ 29% [2% ~ 4%]	17% [2%]	0% ~ 27% [0% ~ 5%]	出力制御なし	0% ~ 53% [0% ~ 9%]	出力制御なし
予想需給状況 ^(注6)	エリア需要 ^(注2) ①	794	774 計	814	857 計	727	732 計	857	851 計
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	226 予	167 予	226 予	154 予	226 予	99 予	158 予	78 予
	域外送電 ^(注4) ③	200 定	200 定	200 定	197 定	200 定	198 定	246 定	232 定
	小計	1,220 426	1,141	1,240 426	1,208	1,153 426	1,029	1,261 404	1,161
	供給力 ^(注5) ④	1,282	1,179	1,269	1,225	1,180	1,029	1,314	1,161
	(再掲)再エネ出力	(687)	(593)	(680)	(600)	(605)	(460)	(627)	(450)
再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④ ⑤	62	38	29	17	27	0	53	0	

(注1) 最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考) 8月末設備量 939万kW (太陽光: 882万kW、風力: 57万kW)
(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3) 揚水発電所を最大限活用
(注4) 開門連系線を最大限活用し、域外送電
(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注6) 最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】
※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】
・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

↑
10/18 川内 2号機 停止・定期検査
10/24 玄海 4号機 再開・調整運転 (→ 10/20 通常運転へ)
10/27 4世: 減った? (↑)

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
〔11月11日現在〕

2019年10月計2回実施

33回目

通し番号		35		36		37		38	
出力制御内容	発信日	10/29 (火) 16時頃 (前日指示)	10/30 (水) 実績 (速報)	10/30 (水) 16時頃 (前日指示)	10/31 (木) 実績 (速報)	10/31 (木) 16時頃 (前日指示)	11/1 (金) 実績 (速報)	11/1 (金) 16時頃 (前日指示)	11/2 (土) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	10/30 (水) 8時00分～16時00分		10/31 (木) 8時00分～16時00分		11/1 (金) 8時00分～16時00分		11/2 (土) 8時00分～16時00分	11/2 (土) 8時00分～16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 ∩ 12時30分	出力制御なし	12時00分 ∩ 12時30分	出力制御なし	12時00分 ∩ 12時30分	出力制御なし	12時00分 ∩ 12時30分	11時30分 ∩ 12時00分
	再エネ出力制御量	0% ~ 59		0% ~ 25		0% ~ 8		49% ~ 115	83
	〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	[0% ~ 9%]		[0% ~ 4%]		[0% ~ 1%]		[8% ~ 19%]	[12%]
予想需給状況 ^(注6)	エリア需要 ^(注2) ①	847	863 計	874	854 計	887	884 計	727	831 計
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	158 予定	107 352	158 予定	123 366	158 予定	119 365	158 予定	102 287
	域外送電 ^(注4) ③	246	245	246	243	251	246	202	185
	小計	1,251 404	1,215	1,278 404	1,220	1,296 409	1,249	1,087 360	1,118
	供給力 ^(注5) ④	1,310	1,215	1,303	1,220	1,304	1,249	1,202	1,201
(再掲)再エネ出力	(643)	(514)	(652)	(570)	(655)	(607)	(577)	(588)	
再エネ出力制御必要量 ^(注5) (⑤=①+②+③-④) ⑤	59	0	25	0	8	0	115	83	

(注1) 最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考) 9月末設備量 943万kW (太陽光: 886万kW、風力: 57万kW)
(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3) 揚水発電所を最大限活用
(注4) 関門連系線を最大限活用し、域外へ送電
(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注6) 最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】
※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】
・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

「予定どおり」
「実施時は」
「出力制御なし」

11/1 予定. さらに減らした?
(11/1 川内1号機が通常運転へ移行)

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満す発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
〔11月11日現在〕

34回目

35回目

36回目

[万kW]

通し番号	39		40		41		42		
発信日	11/3 (日) 16時頃 (前日指示)	11/4 (月) 実績 (速報)	11/4 (月) 16時頃 (前日指示)	11/5 (火) 実績 (速報)	11/5 (火) 16時頃 (前日指示)	11/6 (水) 実績 (速報)	11/8 (金) 16時頃 (前日指示)	11/9 (土) 実績 (速報)	
再エネ出力制御期間	11/4 (月) 8時00分～16時00分	11/4 (月) 8時00分～16時00分	11/5 (火) 8時00分～16時00分	出力制御なし	11/6 (水) 8時00分～16時00分	11/6 (水) 8時00分～16時00分	11/9 (土) 8時00分～16時00分	11/9 (土) 8時00分～16時00分	
最大余剰電力発生時刻	12時00分 ∩ 12時30分	12時30分 ∩ 13時00分	12時00分 ∩ 12時30分		12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	11時30分 ∩ 12時00分	
再エネ出力制御量	36 * ~ 102	40	0 * ~ 13		41 * ~ 55	41	45 * ~ 111	45	
〔再エネ接続量に対する比率〕 (注1)	[11% ~ 22%]	[11%]	[0% ~ 2%]		[6% ~ 8%]	[6%]	[7% ~ 18%]	[7%]	
予想需給状況 (注6)	エリア需要 (注2) ①	727	816 計	877 予	857 計	877 予	877 計	757 予	847 計
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 (注3) ②	158 予	145 計	158 予	140 計	158 予	133 計	158 予	86 計
	域外送電 (注4) ③	202 定	199 計	251 定	250 計	251 定	249 計	202 定	200 計
	小計	1,087 360	1,160	1,286 409	1,247	1,286 409	1,259	1,117 360	1,133
	供給力 (注5) ④	1,189	1,200	1,299	1,247	1,341	1,300	1,228	1,178
	(再掲)再エネ出力	(597)	(541)	(656)	(599)	(654)	(607)	(596)	(528)
再エネ出力制御必要量 (⑤=①+②+③-④) ⑤	102	40	13	0	55	41	111	45	

(注1) 最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考) 9月末設備量 943万kW (太陽光: 886万kW、風力: 57万kW)

(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注3) 揚水発電所を最大限活用

(注4) 閘門連系線を最大限活用し、域外へ送電

(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6) 最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】

※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

- ・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
- ・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

少し増えすぎ、450前後まで可能ならす!!

11/8 また、減らす!

予定値も少し、実施も少し

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満す発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
[11月22日現在]

		37回目		38回目		39回目		40回目	
通し番号		43		44		45		46	
出力制御内容	発信日	11/9 (土) 16時頃 (前日指示)	11/10 (日) 実績 (速報)	11/11 (月) 16時頃 (前日指示)	11/12 (火) 実績 (速報)	11/14 (木) 16時頃 (前日指示)	11/15 (金) 実績 (速報)	11/15 (金) 16時頃 (前日指示)	11/16 (土) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	11/10 (日) 8時00分～16時00分	11/10(日) 8時00分～16時00分	11/12 (火) 8時00分～16時00分	11/12 (火) 8時00分～16時00分	11/15 (金) 8時00分～16時00分	11/15 (金) 8時00分～16時00分	11/16 (土) 8時00分～16時00分	11/16 (土) 8時00分～16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時30分 ∩ 13時00分	12時00分 ∩ 12時30分	12時30分 ∩ 13時00分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	44 * ~ 110 [7% ~ 18%]	58 [10%]	52 * ~ 86 [8% ~ 13%]	51 [8%]	62 * ~ 90 [9% ~ 13%]	79 [12%]	59 * ~ 72 [15% ~ 17%]	60 [15%]
	再エネ出力制御必要量 (⑤=①+②+③-④)	110	58	86	51	90	79	72	60
予想需給状況 ^(注6)	エリア需要 ^(注2) ①	717 予	751 計	867 予	856 計	907 予	874 計	809 予	819 計
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	158) 定	148) 350	158) 定	128) 378	158) 定	143) 391	158) 定	130) 340
	域外送電 ^(注4) ③	202)	202)	251)	250)	251)	248)	212)	210)
	小計	1,077 360	1,101	1,276 409	1,234	1,316 409	1,265	1,179 370	1,159
	供給力 ^(注5) ④	1,187	1,159	1,362	1,285	1,409	1,344	1,251	1,219
(再掲)再エネ出力	(546)	(518)	(646)	(555)	(654)	(579)	(605)	(580)	
再エネ出力制御必要量 (⑤=①+②+③-④)	110	58	86	51	90	79	72	60	

(注1)最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考)9月末設備量 943万kW (太陽光: 886万kW、風力: 57万kW)
(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3)揚水発電所を最大限活用
(注4)開門連系線を最大限活用し、域外へ送電
(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注6)最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】
※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】
・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

少し増えた!

11/15 また減った!

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
〔12月2日現在〕

（11/20 玄海4号機 通常運転へ）

2019年11月 計10回実施

41回目

42回目

[万kW]

通し番号	47		48		49		50	
発信日	11/16 (土) 16時頃 (前日指示)	11/17 (日) 実績 (速報)	11/20 (水) 16時頃 (前日指示)	11/21 (木) 実績 (速報)	11/22 (金) 16時頃 (前日指示)	11/23 (土) 実績 (速報)	11/29 (金) 16時頃 (前日指示)	11/30 (土) 実績 (速報)
再エネ出力制御期間	11/17 (日) 8時00分～16時00分	11/17 (日) 8時00分～16時00分	11/21 (木) 8時00分～16時00分		11/23 (土) 8時00分～16時00分		11/30 (土) 8時00分～16時00分	11/30 (土) 8時00分～16時00分
最大余剰電力発生時刻	12時00分 12時30分	12時00分 12時30分	12時00分 12時30分	出力制御なし この日は寒く需要も大	12時00分 12時30分	出力制御なし	12時00分 12時30分	13時00分 13時30分
再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	38% ~ 123 〔7% ~ 23%〕	71 〔13%〕	0% ~ 28 〔0% ~ 5%〕		0% ~ 80 〔0% ~ 16%〕		22% ~ 107 〔4% ~ 19%〕	31 〔6%〕
エリア需要 ^(注2) ①	715	746	859	926	725	793	805	828
大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	158	126	158	106	158	132	158	148
域外送電 ^(注4) ③	212	198	257	256	212	211	212	210
小計	1,085	1,070	1,274	1,288	1,095	1,136	1,175	1,186
供給力 ^(注5) ④	1,208	1,141	1,302	1,288	1,175	1,136	1,282	1,217
(再掲)再エネ出力	(565)	(460)	(611)	(541)	(547)	(428)	(603)	(481)
再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④ ⑤	123	71	28	0	80	0	107	31

(注1)最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考)10月末設備量 953万kW (太陽光:896万kW、風力:57万kW)

(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注3)揚水発電所を最大限活用

(注4)開門連系線を最大限活用し、域外へ送電

(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6)最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】

※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

- ・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
- ・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を越えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

11/20 行った日 増えただけ!

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満す発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
[1月10日現在]

2019年12月 計1回実施

20%台と出力抑制率が高い!

43回目



44回目

45回目

通し番号		51	52	53	54				
出力制御内容	発信日	12/14 (土) 16時頃 (前日指示)	12/15 (日) 実績 (速報)	12/31 (火) 16時頃 (前日指示)	1/1 (水) 実績 (速報)	1/1 (水) 16時頃 (前日指示)	1/2 (木) 実績 (速報)	1/2 (木) 16時頃 (前日指示)	1/3 (金) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	12/15 (日) 8時00分～16時00分	12/15 (日) 8時00分～16時00分	1/1 (水) 8時00分～16時00分	1/1 (水) 8時00分～16時00分	1/2 (木) 8時00分～16時00分	1/2 (木) 8時00分～16時00分	1/3 (金) 8時00分～16時00分	
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時30分 ∩ 13時00分	13時00分 ∩ 13時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時30分 ∩ 13時00分	12時00分 ∩ 12時30分	出力制御なし
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	36 * ~ 158 [6% ~ 26%]	36 [6%]	61 * ~ 161 [16% ~ 35%]	143 [28%]	41 * ~ 126 [8% ~ 27%]	120 [21%]	0 * ~ 60 [0% ~ 15%]	
	再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④	158	36	161	143	126	120	60	0
予想需給状況 ^(注6)	エリア需要 ^(注2) ①	760	801	740	702	706	760	716	820
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	193	156	226	226	226	168	226	99
	域外送電 ^(注4) ③	220	219	185	183	188	185	188	188
	小計	1,173	1,176	1,151	1,111	1,120	1,113	1,130	1,107
	供給力 ^(注5) ④	1,331	1,212	1,312	1,254	1,246	1,233	1,190	1,107
	(再掲)再エネ出力	(616)	(491)	(599)	(555)	(529)	(523)	(473)	(398)

(注1) 最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考) 11月末設備量 961万kW (太陽光: 904万kW、風力: 57万kW)

(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3) 揚水発電所を最大限活用

(注4) 関門連系線を最大限活用し、域外へ送電

(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6) 最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】

※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

- ・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
- ・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

12/14 増えた!

4基体制入

12/14 川内2号機 再開・調整運転へ
(→ 2020年 1/23 通常運転へ)

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績

[1月20日現在]

		46回目		47回目		48回目		58	
通し番号		55	56	56	57	57	58		
出力制御内容	発信日	1/3(金) 16時頃 (前日指示)	1/4(土) 実績 (速報)	1/4(土) 16時頃 (前日指示)	1/5(日) 実績 (速報)	1/8(水) 16時頃 (前日指示)	1/9(木) 実績 (速報)	1/9(木) 16時頃 (前日指示)	1/10(金) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	1/4(土) 8時00分～16時00分	1/4(土) 8時00分～16時00分	1/5(日) 8時00分～16時00分	1/5(日) 8時00分～16時00分	1/9(木) 8時00分～16時00分	1/9(木) 8時00分～16時00分	1/10(金) 8時00分～16時00分	
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 5 12時30分	12時30分 5 13時00分	12時00分 5 12時30分	12時30分 5 13時00分	12時30分 5 13時00分	12時30分 5 13時00分	12時00分 5 12時30分	出力制御なし
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	79* ~ 178 [13% ~ 31%]	83 [13%]	47* ~ 147 [8% ~ 27%]	51 [8%]	0* ~ 112 [0% ~ 20%]	33 [5%]	0* ~ 66 [0% ~ 12%]	
	再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④	178	83	147	51	112	33	66	0
予想需給状況 ^(注6)	エリア需要 ^(注2) ①	720	804	720	809	916	947	930	969
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	226) 予	154) 計	226) 予	150) 計	169) 予	159) 計	169) 予	89) 計
	域外送電 ^(注4) ③	233) 定	230) 384	233) 定	231) 381	264) 定	264) 423	264) 定	260) 349
	小計	1,179 459	1,188	1,179 459	1,190	1,349 433	1,370	1,363 433	1,318
	供給力 ^(注5) ④	1,357	1,271	1,326	1,241	1,461	1,403	1,429	1,318
	(再掲)再エネ出力	(633)	(561)	(603)	(521)	(562)	(516)	(657)	(539)

(注1) 最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考) 11月末設備量 961万kW (太陽光: 904万kW、風力: 57万kW)

(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注3) 揚水発電所を最大限活用

(注4) 関門連系線を最大限活用し、域外へ送電

(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6) 最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】

※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

- ・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
- ・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

1/3
増減あり!

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
[2月7日現在]

2020年1月計5回実施

49回目

[万kW]

通し番号		59		60		61		62	
出力制御内容	発信日	1/12 (日) 16時頃 (前日指示)	1/13 (月) 実績 (速報)	1/31 (金) 16時頃 (前日指示)	2/1 (土) 実績 (速報)	2/1 (土) 16時頃 (前日指示)	2/2 (日) 実績 (速報)	2/4 (火) 16時頃 (前日指示)	2/5 (水) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	1/13 (月) 8時00分～16時00分		2/1 (土) 8時00分～16時00分		2/2 (日) 8時00分～16時00分	2/2 (日) 8時00分～16時00分	2/5 (水) 8時00分～16時00分	
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 5 12時30分	出力制御なし	12時00分 5 12時30分	出力制御なし	12時30分 5 13時00分	12時30分 5 13時00分	12時30分 5 13時00分	出力制御なし
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	0* ~ 45 [0% ~ 10%]		0* ~ 51 [0% ~ 9%]		91* ~ 205 [20% ~ 39%]	96 [20%]	0* ~ 107 [0% ~ 16%]	
	エリア需要 ^(注2) ①	866	1,002	889	944	798	864	988	1,043
予想需給状況 ^(注6)	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	169) 予	41) 計	169) 予	130) 計	169) 予	106) 計	195) 予	126) 計
	域外送電 ^(注4) ③	233) 定	233) 27%	231) 定	230) 260	230) 定	228) 33%	282) 定	282) 40%
	小計	1,268 402	1,276	1,289 400	1,304	1,197 399	1,198	1,465 477	1,451
	供給力 ^(注5) ④	1,313	1,276	1,340	1,304	1,402	1,294	1,572	1,451
	(再掲)再エネ出力	(575)	(430)	(600)	(563)	(673)	(559)	(745)	(567)
再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④ ⑤	45	0	51	0	205	96	107	0	

(注1) 最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考) 12月末設備量 981万kW (太陽光: 924万kW、風力: 57万kW)

(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注3) 揚水発電所を最大限活用

(注4) 関門連系線を最大限活用し、域外へ送電

(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6) 最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】

※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

- ・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
- ・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

2020年 11月内 2号機 通常運転へ
1/23

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満す発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
 2019年度実績
 [2月22日現在]

50回目

51回目

52回目

[万kW]

通し番号		63		64		65		66	
出力制御内容	発信日	2/7 (金) 16時頃 (前日指示)	2/8 (土) 実績 (速報)	2/10 (月) 16時頃 (前日指示)	2/11 (火) 実績 (速報)	2/12 (水) 16時頃 (前日指示)	2/13 (木) 実績 (速報)	2/14 (金) (当日指示)	2/14 (金) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	2/8 (土) 8時00分～16時00分	出力制御なし	2/11 (火) 8時00分～16時00分	2/11 (火) 8時00分～16時00分	2/13 (木) 8時00分～16時00分	2/13 (木) 8時00分～16時00分	2/14 (金) 12時00分～15時30分	2/14 (金) 12時00分～15時30分
	最大余剰電力発生時刻	12時30分 5 13時00分		5 12時00分 5 12時30分	5 12時30分 5 13時00分	5 12時30分 5 13時00分	5 12時30分 5 13時00分	5 12時00分 5 12時30分	5 12時30分 5 13時00分
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	0% ~ 46 [0% ~ 8%]		73% ~ 187 [10% ~ 28%]	78 [10%]	0% ~ 104 [0% ~ 16%]	24 [3%]	42 [6%]	43 [6%]
	エリア需要 ^(注2)	① 889		970	808	933	938	930	940
大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3)	② 221	130	221	177	153	141	153	147	
域外送電 ^(注4)	③ 230	228	231	230	282	282	180	186	
小計	1,340	1,328	1,260	1,340	1,373	1,353	1,273	1,258	
供給量 ^(注5)	④ 1,386	1,328	1,447	1,418	1,477	1,377	1,315	1,301	
(再掲)再エネ出力	(646)	(535)	(734)	(634)	(719)	(616)	(558)	(531)	
再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④	⑤ 46	0	187	78	104	24	42	43	

(注1)最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
 (参考) 12月末設備量 981万kW (太陽光:924万kW、風力:57万kW)
 (注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
 (注3)揚水発電所を最大限活用
 (注4)関門連系線を最大限活用し、域外へ送電
 (注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
 (注6)最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】
 ※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】
 ・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
 ・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

なぜ減った?

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
[3月1日現在]

		53回目		54回目		55回目		56回目	
通し番号		67		68		69		70	
出力制御内容	発信日	2/18 (火) 16時頃 (前日指示)	2/19 (水) 実績 (速報)	2/19 (水) 16時頃 (前日指示)	2/20 (木) 実績 (速報)	2/20 (木) 16時頃 (前日指示)	2/21 (金) 実績 (速報)	2/21 (金) 16時頃 (前日指示)	2/22 (土) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	2/19 (水) 8時00分～16時00分	2/19 (水) 8時00分～16時00分	2/20 (木) 8時00分～16時00分	2/20 (木) 8時00分～16時00分	2/21 (金) 8時00分～16時00分	2/21 (金) 8時00分～16時00分	2/22 (土) 8時00分～16時00分	2/22 (土) 8時00分～16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時30分 5 13時00分	12時30分 5 13時00分	12時30分 5 13時00分	12時30分 5 13時00分	12時00分 5 12時30分	12時30分 5 13時00分	12時30分 5 13時00分	14時30分 5 15時00分
	再エネ出力制御量	51 * ~ 130	94	32 * ~ 146	104	98 * ~ 184	104	61 * ~ 175	73
	[再エネ接続量に対する比率] (注1)	[7% ~ 17%]	[13%]	[10% ~ 29%]	[25%]	[13% ~ 25%]	[13%]	[10% ~ 29%]	[13%]
予想需給状況 (注6)	エリア需要 (注2) ①	1,018	1,035	908	978	888	960	838	825
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 (注3) ②	153) 予	131) 計	153) 予	128) 計	153) 予	119) 計	153) 予	144) 計
	域外送電 (注4) ③	282) 定	277) 408	282) 定	278) 406	282) 定	278) 397	230) 定	226) 370
	小計	1,453 435	1,443	1,343 435	1,384	1,323 435	1,357	1,221 383	1,195
	供給力 (注5) ④	1,583	1,537	1,489	1,488	1,507	1,461	1,396	1,268
	(再掲)再エネ出力	(765)	(697)	(695)	(676)	(770)	(689)	(681)	(545)
再エネ出力制御必要量 (注5)=①+②+③-④ ⑤	130	94	146	104	184	104	175	73	

(注1) 最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考) 12月末設備量 981万kW (太陽光: 924万kW、風力: 57万kW)
(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3) 揚水発電所を最大限活用
(注4) 関門連系線を最大限活用し、域外へ送電
(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注6) 最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】
※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】
・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

多!!

多減った?

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

2020年2月計11回実施

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
〔3月1日現在〕

通し番号		57回目		58回目		59回目		74	
出力制御内容	発信日	2/22 (土) 16時頃 (前日指示)	2/23 (日) 実績 (速報)	2/23 (日) 16時頃 (前日指示)	2/24 (月) 実績 (速報)	2/25 (火) 16時頃 (前日指示)	2/26 (水) 実績 (速報)	2/26 (水) 16時頃 (前日指示)	2/27 (木) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	2/23 (日) 8時00分～16時00分	2/23 (日) 8時00分～16時00分	2/24 (月) 8時00分～16時00分	2/24 (月) 8時00分～16時00分	2/26 (水) 8時00分～16時00分	2/26 (水) 8時00分～16時00分	2/27 (木) 8時00分～16時00分	
	最大余剰電力発生時刻	12時30分 5 13時00分	12時30分 5 13時00分	12時00分 5 12時30分	12時30分 5 13時00分	12時30分 5 13時00分	12時30分 5 13時00分	12時30分 5 13時00分	出力制御なし
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕(注1)	262 * ~ 263 [36% ~ 36%]	289 [39%]	223 * ~ 224 [27% ~ 27%]	254 [32%]	0 * ~ 88 [0% ~ 15%]	22 [5%]	0 * ~ 53 [0% ~ 10%]	
	再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④	263	289	224	254	88	22	53	0
予想需給状況(注6)	エリア需要(注2) ①	844	808	874	861	898	913	899	978
	大容量蓄電池の充電・揚水運転(注3) ②	153	127	153	84	153	29	153	77
	域外送電(注4) ③	230	224	231	228	282	278	282	282
	小計	1,227	1,159	1,258	1,173	1,333	1,220	1,334	1,337
	供給力(注5) ④	1,490	1,448	1,482	1,427	1,421	1,242	1,387	1,337
	(再掲)再エネ出力	(775)	(745)	(765)	(698)	(668)	(460)	(638)	(477)

(注1) 最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考) 12月末設備量 981万kW (太陽光: 924万kW、風力: 57万kW)
(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3) 揚水発電所を最大限活用
(注4) 関門運系線を最大限活用し、域外へ送電
(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注6) 最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】
※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】
・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

減ったよ!!

や!!

や!!



『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系統運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
〔3月15日現在〕

		60回日		61回日		62回日		63回日	
通し番号		75		76		77		78	[万kW]
出力制御内容	発信日	3/1(日)16時頃 (前日指示)	3/2(月)実績 (速報)	3/2(月)16時頃 (前日指示)	3/3(火)実績 (速報)	3/4(水)16時頃 (前日指示)	3/5(木)実績 (速報)	3/5(木)16時頃 (前日指示)	3/6(金)実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	3/2(月) 8時00分～16時00分	3/2(月) 8時00分～16時00分	3/3(火) 8時00分～16時00分	3/3(火) 8時00分～16時00分	3/5(木) 8時00分～16時00分	3/5(木) 8時00分～16時00分	3/6(金) 8時00分～16時00分	3/6(金) 8時00分～16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時30分 ∩ 13時00分	13時00分 ∩ 13時30分	12時30分 ∩ 13時00分	12時30分 ∩ 13時00分	12時30分 ∩ 13時00分	12時30分 ∩ 13時00分	12時00分 ∩ 12時30分	12時30分 ∩ 13時00分
	再エネ出力制御量	98* ~ 197	100	0* ~ 98	86	129* ~ 228	121	147* ~ 243	185
	〔再エネ接続量に対する比率〕(注1)	[17% ~ 31%]	[17%]	[0% ~ 18%]	[13%]	[19% ~ 32%]	[19%]	[17% ~ 29%]	[22%]
予想需給状況(注6)	エリア需要(注2) ①	896	954	895	945	926	1,021	986	988
	大容量蓄電池の充電・揚水運転(注3) ②	158	117	158	79	158	120	158	124
	域外送電(注4) ③	264	268	264	253	264	264	264	262
	小計	1,318	1,339	1,317	1,277	1,348	1,405	1,408	1,374
	供給力(注5) ④	1,515	1,439	1,415	1,363	1,576	1,526	1,651	1,559
	(再掲)再エネ出力	(778)	(656)	(681)	(591)	(840)	(712)	(850)	(743)
再エネ出力制御必要量(⑤=①+②+③-④) ⑤	197	100	98	86	228	121	243	185	

(注1) 最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考) 1月末設備量 985万kW(太陽光:928万kW、風力:57万kW)

(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3) 揚水発電所を最大限活用
(注4) 関門連系統を最大限活用し、域外送電
(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6) 最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】

※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

- ・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
- ・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

多!!

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
〔3月15日現在〕

通し番号		64回目		80		65回目		66回目		
発信日		3/7 (土) 16時頃 (前日指示)	3/8 (日) 実績 (速報)	3/8 (日) 16時頃 (前日指示)	3/9 (月) 実績 (速報)	3/10 (火) 16時頃 (前日指示)	3/11 (水) 実績 (速報)	3/11 (水) 16時頃 (前日指示)	3/12 (木) 実績 (速報)	
出力制御内容	再エネ出力制御期間	3/8 (日) 8時00分～16時00分	3/8 (日) 8時00分～16時00分	3/9 (月) 8時00分～16時00分	出力制御なし	3/11 (水) 8時00分～16時00分	3/11 (水) 8時00分～16時00分	3/12 (木) 8時00分～16時00分	3/12 (木) 8時00分～16時00分	
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 ∩ 12時30分	13時30分 ∩ 14時00分	12時00分 ∩ 12時30分		12時30分 ∩ 13時00分	12時30分 ∩ 13時00分	12時00分 ∩ 12時30分	12時30分 ∩ 13時00分	
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	265 * ~ 364 [37% ~ 51%]	289 [43%]	0 * ~ 140 [0% ~ 21%]		217 * ~ 245 [28% ~ 31%]	209 [28%]	227 * ~ 255 [26% ~ 30%]	206 [26%]	
	エリア需要 ^(注2) ①	786	772	855		952	920	944	930	931
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	158	96	158		▲ 31	158	124	158	119
域外送電 ^(注4) ③	213	210	264	258	264	260	264	258		
小計	1,157	1,078	1,277	1,179	1,342	1,328	1,352	1,308		
供給力 ^(注5) ④	1,521	1,367	1,417	1,179	1,587	1,537	1,607	1,514		
(再掲)再エネ出力	(812)	(668)	(675)	(291)	(837)	(765)	(815)	(687)		
再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④ ⑤	364	289	140	0	245	209	255	206		

(注1) 最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考) 1月末設備量 985万kW (太陽光：928万kW、風力：57万kW)
(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3) 揚水発電所を最大限活用
(注4) 関門連系線を最大限活用し、域外へ送電
(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注6) 最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】
※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】
・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
[3月22日現在]

原発3基入
↓

通し番号		83	84	85	86				
出力制御内容	発信日	3/13 (金) 16時頃 (前日指示)	3/14 (土) 実績 (速報)	3/14 (土) 16時頃 (前日指示)	3/15 (日) 実績 (速報)	3/16 (月) 16時頃 (前日指示)	3/17 (火) 実績 (速報)	3/17 (火) 16時頃 (前日指示)	3/18 (水) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	3/14 (土) 8時00分～16時00分	3/14 (土) 8時00分～16時00分	3/15 (日) 8時00分～16時00分	3/15 (日) 8時00分～16時00分	3/17 (火) 8時00分～16時00分	3/17 (火) 8時00分～16時00分	3/18 (水) 8時00分～16時00分	3/18 (水) 8時00分～16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時30分 ∩ 13時00分	13時00分 ∩ 13時30分	12時30分 ∩ 13時00分	12時30分 ∩ 13時00分	12時30分 ∩ 13時00分	出力制御なし ∩ 13時00分	出力制御なし ∩ 13時00分	出力制御なし ∩ 13時00分
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	250 [*] ~ 278 [32% ~ 36%]	222 [32%]	257 [*] ~ 356 [35% ~ 48%]	274 [39%]	0 [*] ~ 96 [0% ~ 13%]	0 [*] ~ 89 [0% ~ 12%]	0 [*] ~ 89 [0% ~ 12%]	0 [*] ~ 89 [0% ~ 12%]
	再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④	278	222	356	274	96	0	89	0
予想需給状況 ^(注6)	エリア需要 ^(注2) ①	890	851	806	821	915	956	905	913
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	158) 予	78) 計	158) 予	62) 計	193) 予	120) 計	226) 予	160) 計
	域外送電 ^(注4) ③	212) 定	207) 285	212) 定	204) 266	252) 定	252) 372	252) 定	250) 440
	小計	1,260) 370	1,136	1,176) 370	1,087	1,360) 445	1,328	1,383) 478	1,323
	供給力 ^(注5) ④	1,538	1,358	1,532	1,361	1,456	1,328	1,472	1,323
	(再掲)再エネ出力	(827)	(656)	(824)	(656)	(832)	(671)	(828)	(638)
	再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④	278	222	356	274	96	0	89	0

(注1)最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考)1月末設備量 985万kW(太陽光:928万kW、風力:57万kW)
(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3)揚水発電所を最大限活用
(注4)関門連系線を最大限活用し、域外へ送電
(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注6)最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】
※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】
・実績(速報)は制御量最大となる時間帯(出力制御がない場合は前日指示時間帯)
・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

2020年3月16日(月)
川内1号機 停止

多い!

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
〔3月22日現在〕

3/18 (水) 以降、実施未発表 (不明!)



[万kW]

通し番号	87	88	89	90				
出力制御内容	発信日	3/18 (水) 16時頃 (前日指示)	3/19 (木) 16時頃 (前日指示)	3/20 (金) 16時頃 (前日指示)	3/22 (日) 16時頃 (前日指示)			
	再エネ出力制御期間	3/19 (木) 8時00分～16時00分	3/20 (金) 8時00分～16時00分	3/21 (土) 8時00分～16時00分	3/23 (月) 8時00分～16時00分			
	最大余剰電力発生時刻	12時30分 5 13時00分	12時30分 5 13時00分	12時00分 5 12時30分	12時00分 5 12時30分			
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	0% ~ 116 [0% ~ 15%]	121% ~ 155 [18% ~ 22%]	131% ~ 165 [15% ~ 19%]	42% ~ 76 [5% ~ 9%]			
	予想需給状況 ^(注6)	エリア需要 ^(注2) ①	885	819	809	889		
大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②		226) 予	226) 予	226) 予	226) 予			
域外送電 ^(注4) ③		252 / 定	212 / 定	214 / 定	252 / 定			
小計		1,363 478	1,257 438	1,249 440	1,367 478			
供給力 ^(注5) ④		1,479	1,412	1,414	1,443			
(再掲)再エネ出力		(835)	(823)	(823)	(823)			
再エネ出力制御必要量 (⑤=①+②+③-④) ⑤		116	155	165	76			

(注1) 最新の再エネ (太陽光・風力) 設備量に基づき都度算定

(参考) 1月末設備量 985万kW (太陽光: 928万kW、風力: 57万kW)

(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注3) 揚水発電所を最大限活用

(注4) 関門連系線を最大限活用し、域外へ送電

(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6) 最大誤差相当を考慮した予想需給状況【当日見直す場合は、10時に公表】

※ オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

・実績 (速報) は制御量最大となる時間帯 (出力制御がない場合は前日指示時間帯)

・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応

(2020年
3月22日
作成)